

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年10月2日～10月6日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
10月2日	ガレキ類一時保管エリアNの状況確認	ガレキ類一時保管エリアN	<p>○ガレキ類一時保管エリアNの現況について、現場確認した。 当該エリアには、ブルーシートで覆われたH4タンクエリアの汚染土及び汚染土壌等が収納されたノッチタンクが保管されていた。ノッチタンクは、エリア西側の一部を除き、角材の上に置かれており、周囲には鋼製の仮堰のようなものが設置されていた。このうち東側の部分のノッチタンク底面にはコンクリートが打設されていた。</p>	11時56分現在
10月3日	H4北タンクエリアの汚染土壌回収作業の状況確認	H4北タンクエリア	<p>○H4北タンクエリアの汚染土壌回収作業の現況について、現場確認した。 汚染土壌の回収にあたっては、はじめに汚染範囲の周囲を鋼矢板で囲み、地下水の流入を遮断した後、汚染土壌を掘削除去する計画となっており、現場確認時は、鋼矢板の打ち込み作業中で、汚染範囲の北面及び西面の打ち込みが完了したところであった。東京電力の担当Gによると、今年11月末までに鋼矢板の打ち込みを行い、その後1年かけて汚染土壌を回収することであった。 作業はトラブルなく行われていることを確認した。</p>	11時47分現在
	H4北エリアのタンク設置状況の確認	H4北エリア	<p>○H4北エリアのタンク設置状況について、現場確認した。 計画されている溶接型タンク35基はすべて設置済みであり、エリア南側のタンクはALPS処理水の貯蔵タンクとして供用が開始されていた。当該タンクの周りには、鋼製の仮堰及びコンクリートの内堰が設置され、ALPS処理水の移送配管の敷設も完了していた。エリア北側のタンクの周りには、鋼製の仮堰及びコンクリートの内堰が設置中であり、また、移送配管も敷設中であることから供用できる段階ではなかった。 作業はトラブルなく行われていることを確認した。</p>	
	H4南エリア(H4タンクエリア)の現況確認	H4南エリア	<p>○H4南エリア(H4タンクエリア)の現況について、現場確認した。 前回確認時、コンクリートの基礎部が残っていたが、基礎はすべて撤去され、雨水の集水ピットのみ残されていた。エリア東側では、土壌改良のためと思われる掘削作業が行われていた。 作業はトラブルなく行われていることを確認した。</p>	
10月4日	地下貯水槽No.6及びNo.7の状況確認	地下貯水槽No.6、No.7	<p>○地下貯水槽No.6、No.7の周辺の地下水観測孔等の現況について、現場確認した。 前回確認時と同様に、一部の観測孔で口元周辺に草が生えている状況が確認された。</p>	11時32分現在
10月5日	プロセス主建屋の津波対策箇所の現況確認	プロセス主建屋周辺	<p>○3号機タービン建屋及びプロセス主建屋の15m級津波対策工事が実施されていることから、プロセス主建屋の津波対策箇所の現況確認を行った。 プロセス主建屋の津波対策対象箇所は12箇所あり、このうち西側外壁の屋外ガラリ1箇所対策工事が着手されていることを確認した。また、北側外壁の東側(外壁開口部)では足場が組まれ、東側外壁の南側では足場材等が仮置きされるなど準備工が始まっていることを確認した。 計画どおり作業が行われていることを確認した。</p>	8時56分現在
10月6日	サブドレン処理水排水状況の確認	免震重要棟集中監視室サブドレン処理水一時貯水タンク、移送設備、バルブユニット	<p>○サブドレン一時貯水タンクからの排水操作に立ち会った。水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。</p>	9時07分現在
	サブドレン海水サンプリング状況の確認	5、6号機放水口北側	<p>○サブドレン排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。福島県測定分も含めて5本採取した。</p>	
	サブドレン増設サンプルタンクの設置状況確認	サブドレン増設サンプルタンク	<p>○9月中旬よりサブドレン増設サンプルタンクの供用開始が予定されていたが、前回確認時、供用開始できる段階ではなかったことから、その後の状況を確認した。 現場確認したところ、前回確認時とほぼ同様の状況であり、堰カバーは設置されておらず、堰の防水塗装中であった。また、サブドレン処理水の移送配管も敷設中であり、供用できる段階ではなかった。</p>	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。